環境経営レポート（2019年5月～2020年4月）

株式会社萩原工業
Hagiwara Kogyo Co., Ltd.

株式会社萩原工業
エコアクション推進担当者　萩原　将也

2020年5月27日発行

目次

1. 組織の概要

2. 環境経営実施体制

3. 環境経営方針

4. 環境経営目標

5. 環境経営計画

6. 環境経営目標及び実績

7. 取組結果とその評価

8. 活動状況

9. 環境関連法規等の確認及び評価

10. 全体の評価と見直し

1. 組織の概要(Plan)

株式会社萩原工業
Hagiwara Kogyo Co., Ltd.

＜企業データ＞

事業所名	株式会社萩原工業
代表者	代表取締役　萩原　哲也
所在地	群馬県安中市松井田町土塩499
事業内容	総合建設業
従業員数	従業員20名(役員含む)
床面積	2，530m2
認証登録範囲	本社、資材置場

環境管理責任者　萩原　孝之

【連絡先】
TEL:027-393-1480
FAX:027-393-1414
URL:http://hagimoku.co.jp/

2020年4月30日現在

＜建設業許可＞

許可番号:群馬県知事許可(特-1)第2328号
有効期間:令和2年1月20日～令和7年1月19日
種　　類:土・建・大・と・石・屋・タ・鋼・舗・しゅ・塗・防・内・水・解

許可番号:群馬県知事許可(般-1)第2328号
有効期間:令和2年1月20日～令和7年1月19日
種　　類:管・造

2. 環境経営実施体制(Plan)

株式会社萩原工業
Hagiwara Kogyo Co., Ltd.

■エコアクション21実施体制

職名・名前	役　　割
①最高責任者 代表取締役　萩原　哲也	1)環境管理責任者をはじめ、必要な責任者を任命する。該当責任者には、現在の責務に関わりなく、兼任で責任と権限を明示する 2)エコアクション21の構築・運用・維持に必要な経営諸資源（人材・資金・機器・設備・技術・技能を含む）を準備する 3)環境方針を制定する 4)エコアクション21の構築・運用に関する情報を収集し、環境方針・環境目標をはじめシステム全体の見直しを行い、必要に応じ改訂を指示する
②環境管理責任者 専務　萩原　孝之	1)エコアクション21に関する経営諸資源の合理的・効果的な運用を図り、目的を達成するために環境委員会を運営する 2)エコアクション21の構築と運用を円滑に行い、最高責任者による見直しのための情報として、構築・運用に関する情報を最高責任者に提供する
③事務局 総務部　萩原　将也	事務局として、環境管理責任者を補佐し、エコアクション21に関する実務全般を所管する
④環境委員会	最高責任者・環境管理責任者・事務局・部門長で構成し、月1回環境管理責任者が召集する。環境目標の設定、環境活動計画の策定及び進捗管理について協議する。環境管理責任者が必要と認めた者は出席することができる
⑤工事部	計画・実行・評価・改善の「実行」を担う。

3. 環境経営方針(Plan)

株式会社萩原工業
Hagiwara Kogyo Co., Ltd.

■基本理念

私たちは、かけがえのない地球を守ることが、人類共通の最重要課題のひとつと認識し、地域環境に配慮した事業活動に努めます。

■基本方針

環境保全活動を推進するにあたり、以下に主な活動項目を掲げ取組みます。

1. 当社の主力事業である、土木. 建築設計施工までの各領域において、技術的・経済的な事情を考慮の上、環境に与える影響を低減するとともに、循環型社会の実現に努めます。
2. 環境活動の継続的改善を推進するにあたり、環境目標・環境活動計画を策定し取組みます。策定した目標・活動計画は定期的にあるいは必要に応じて見直します。
3. 事業活動において、環境に関わる法律・規制その他公的基準を遵守します。
4. 環境方針は、全社員に周知するとともに、環境教育を行い社員の環境に関する意識の向上を図ります。
5. 環境管理に関する情報は、社内外に公表し、地域社会とのコミュニケーションを図ります。

制定日　2012年　8月23日
改定日　2013年　4月　1日
株式会社萩原工業
代表取締役　　萩原　哲也

4. 環境経営目標(Plan)

株式会社萩原工業
Hagiwara Kogyo Co., Ltd.

■環境目標　3カ年計画

取　組　項　目	単　　位	基準値※4（過去3年平均）	環境目標 2018年度	環境目標 2019年度	環境目標 2020年度
①二酸化炭素排出量	kg－co2/百万※1	270.1	270.0	268.7	267.4
1）電力使用量	Kwh/百万円※1	18.2	18.1	18.1	18.0
2）ガソリン使用量	L/百万円※1	40.0	39.8	39.8	39.6
3）軽油使用量	L/百万円※1	47.2	47.0	46.9	46.7
4）灯油使用量	L/百万円※1	9.2	9.2	9.2	9.1
②廃棄物排出量	t/百万円※1	5.0	5.0	5.0	4.95
③水使用量	m3/人※2	4.8	4.8	4.7	4.7
④化学物質取扱い及び管理の徹底	-	SDSの確認・保管	SDSの確認・保管	SDSの確認・保管	SDSの確認・保管
⑤本業に関する目標	-	①表彰 ②安全パトロール ③エコ検定取得	①表彰 ②安全パトロール ③エコ検定取得	①表彰 ②安全パトロール ③エコ検定取得	①表彰 ②安全パトロール ③エコ検定取得

※1.売上　N＝597百万
※2.従業員数　　N＝19人
※3.　各数値　小数点以下第二四捨五入
※電気事業者別二酸化炭素排出係数
　0.518（2018年度）

※4.基準値
（過去3年平均）

取組項目	2015年度	2016年度	2017年度	平均
①二酸化炭素排出量	268.0	182.2	360.0	270.1
1）電力使用量	16.9	12.1	25.6	18.2
2）ガソリン使用量	33.6	28.2	58.3	40.0
3）軽油使用量	46.3	25.4	70.0	47.2
4）灯油使用量	9.0	6.3	12.4	9.2
②廃棄物排出量	6.87	6.7	1.3	5.0
③水使用量	4.33	4.7	5.35	4.8

5. 環境経営計画(Plan)

株式会社萩原工業
Hagiwara Kogyo Co., Ltd.

■環境経営計画

項　　目	実　　施　　内　　容
二酸化炭素排出量の削減	①電力、燃料量の集計
	②照明・PC電源不要時のOFFの推進
	③エアコン清掃の実施
	④エコドライブ推進
	⑤社用車の点検・整備
	⑥日中事務フロアのブラインドによる遮熱性の向上
	⑦不要なOA機器の電源OFF（退社時、未使用時）等
廃棄物の削減	①分別ルールの徹底
	②廃棄物置場の整備
	③産廃業者との契約書の確認
	④裏紙使用ルールの徹底
水資源投入量の削減	①毎月のメータを確認する（漏水防止）
	②節水表示
	③トイレの節水
化学物質取扱及び管理の徹底	①取扱商品の把握
	②購入量の把握
	③取扱商品一覧表の作成
本業に関する目標	①工程・施工・品質　表彰を獲得する
	②安全　毎月1回安全パトロール
	③エコ人材の強化　エコアクション事務担当者のエコ検定取得率UP

6. 環境経営目標及び実績(Do・Check)

株式会社萩原工業
Hagiwara Kogyo Co., Ltd.

■目標と実績

取　組　項　目	数 値 目 標	2019年度 目標	2019年度 結果	達 成 率 (%)
①二酸化炭素排出量	kg－co2/百万※1	268.7	514.2	52.3%
1）電力使用量	Kwh/百万円※1	18.1	35.1	51.6%
2）ガソリン使用量	L/百万円※1	39.8	80.4	49.5%
3）軽油使用量	L/百万円※1	46.9	102.2	45.9%
4）灯油使用量	L/百万円※1	9.2	18.9	48.7%
②廃棄物排出量	t/百万円※1	5.0	2.4	208%
③水使用量	m3/人※2	4.7	4.55	103%
④化学物質取扱い 及び管理の徹底	-	SDSの確認・保管	SDSの確認・保管	達成
⑤本業に関する目標	-	①表彰 ②安全パトロール ③エコ検定取得	①表彰 →5件 ②安全パトロール →月1回の実施 ③エコ検定取得 →取得済	達成

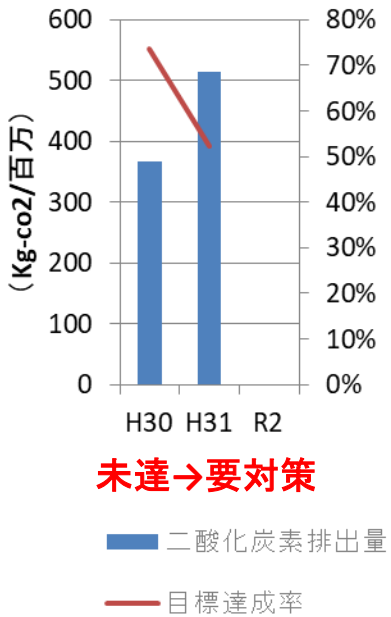
※1. 売上　N＝243百万
※2. 従業員数　N＝20人
※3. 各数値　小数点以下第二四捨五入

6-2. 環境経営目標及び実績(Do・Check)

株式会社萩原工業
Hagiwara Kogyo Co., Ltd.

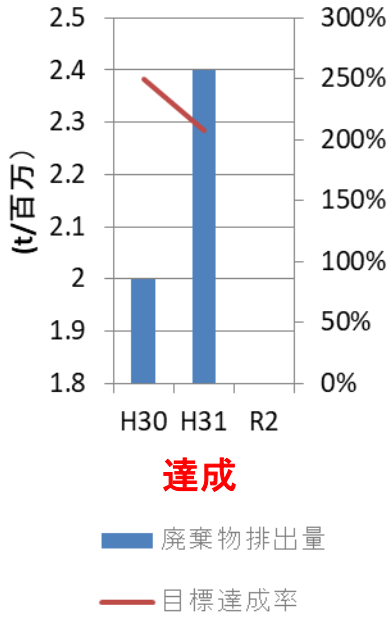
■目標と実績

二酸化炭素排出量



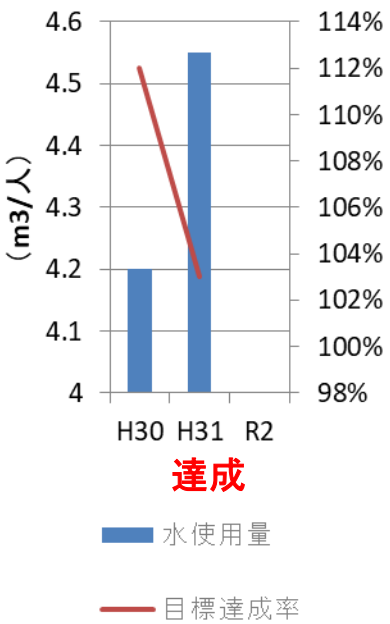
未達→要対策

廃棄物排出量



達成

水使用量



達成

次年度については、二酸化炭素排出量の改善を行います。

この項目については、年度ごとの受注工事内容に大きく影響を受けてしまうため、工事内容に影響されない打ち手の検討が必要です。主に「二酸化炭素排出量　ガソリンの使用量」に焦点をあて、「現場の直行直帰体制の確立」によりその数値の改善を行います。この取組みは、現場従業員が直行直帰を行うことで、今まで本社から現場事務所の移動に要していた時間が大幅に削減できることにより、ガソリンの使用量の削減が見込まれます。（8-2.活動状況　参照）

7. 取組結果とその評価(Do・Check)

株式会社萩原工業
Hagiwara Kogyo Co., Ltd.

■活動結果の評価と次年度の取組み

項　目	実　施　内　容	結果	評　価	次年度の取組み
二酸化炭素排出量の削減	①電力、燃料量の集計	○	【定量】 未達成　52% 二酸化炭素排出量（kg-co2/百万円） 目標：268.7 結果：514.2 【定性】 ＜未達成要因＞ 工事売上高の減少	活動の継続
	②照明・PC電源不要時のOFFの推進	○		活動の継続
	③エアコン清掃の実施	○		活動の継続
	④エコドライブ推進	○		活動の継続
	⑤社用車の点検・整備	○		活動の継続
	⑥日中事務フロアのブラインドによる遮熱性の向上	○		活動の継続
	⑦不要なOA機器の電源OFF（退社時、未使用時）等	○		活動の継続
廃棄物の削減	①分別ルールの徹底	○	【定量】 達成 208% 【定性】 ＜達成要因＞ 廃棄物排出量及び廃棄物最終処分量が、58.7%（過去三年平均比）減少しているため	活動の継続
	②廃棄物置場の整備	○		活動の継続
	③産廃業者との契約書の確認	○		活動の継続
	④裏紙使用ルールの徹底	○		活動の継続
水資源投入量の削減	①毎月のメータを確認する（漏水防止）	○	【定量】 達成　103% 【定性】 引続き節水対策の継続を行う	活動の継続
	②節水表示	○		活動の継続
	③トイレの節水	○		活動の継続
化学物質取扱及び管理の徹底	①取扱商品の把握	○	引続きSDSの確認・保管を行う	活動の継続
	②購入量の把握	○		活動の継続
	③取扱商品一覧表の作成	○		活動の継続
本業に関する目標	①工程・施工・品質　表彰を獲得する	○	①計5件 （部長表彰　1件、所長表彰　4件） ②安全パトロール　毎月　1回 ③エコ検定 （事務担当者取得率100%達成）	活動の継続
	②安全　毎月1回安全パトロール	○		活動の継続
	③エコ人材の強化　エコアクション事務担当者のエコ検定取得率UP	○		本年度にて廃止

8. 活動状況

株式会社萩原工業
Hagiwara Kogyo Co., Ltd.

■活動状況

表彰:5件受賞

表彰状

株式会社萩原工業 殿

右は令和元年度群馬県建設工事表彰における審査の結果その卓越した技術は誠に顕著で他の模範となるものでありますよってここにその功績をたたえ表彰します

令和元年十月十日

群馬県農政部長 吉野 努

群馬県農政部長表彰

表彰状

株式会社萩原工業 殿

右は令和元年度群馬県建設工事表彰における審査の結果その卓越した技術は誠に顕著で他の模範となるものでありますよってここにその功績をたたえ表彰します

令和元年十一月八日

群馬県県土整備部 安中土木事務所長 宮前 勝美

安中土木事務所長表彰

表彰状

株式会社萩原工業 主任技術者 石井 雅人 殿

あなたは群馬県西部森林環境事務所所管建設工事において優れた経験と技術をもって工事の完成に寄与されましたその施工管理の功績は他の模範となりますのでここに表彰いたします

令和元年十月二十四日

西部森林環境事務所長 曲沢 修

西部森林環境事務所長表彰

地域貢献

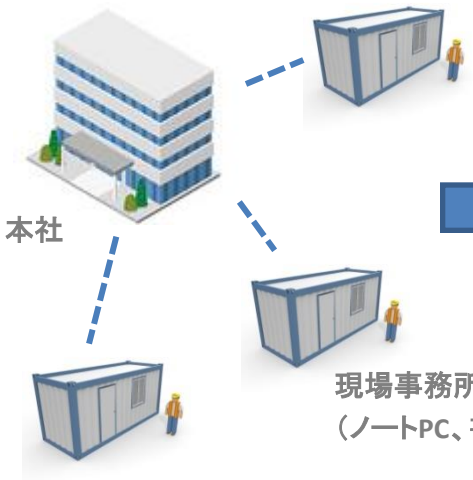
群馬県建設業協会主催の道路クリーン作戦に参加し、地域のゴミ拾いを行いました。

令和元年台風19号では、本社周辺の道路や河川のパトロールを行いました。

株式会社萩原工業
Hagiwara Kogyo Co., Ltd.

リモートワーク体制の確立（次年度取組み）

全社員基本
直行直帰へ



直行直帰体制へ移行

会社から現場への移行時間を最小限に削減することで

ガソリン使用量削減へ

現場事務所環境を改善し、直行直帰を推進することで、今まで本社から現場事務所の移動に要していた時間を削減します。

【参考】　■1ヵ月当たり（1ヵ月労働日数平均　22.4日，燃料費 1ℓ 10km として）

本社↔a現場　往復　24km×22.4日＝537.6km　**53.76ℓの削減**

本社↔b現場　往復　6km×22.4日＝134.4km　**13.44ℓの削減**

9. 環境活動関連法規等の確認及び評価

株式会社萩原工業
Hagiwara Kogyo Co., Ltd.

■当社に適用となる主な環境法規

法令規制等の名称	遵守事項	遵守状況
浄化槽法	保守点検実施・法定検査実施	遵法
騒音規制法	特定建設作業・適用指定地域 →都道府県知事への届出、各規制	遵法
振動規制法	特定建設作業・適用指定地域 →都道府県知事への届出、各規制	遵法
廃棄物処理法	産業廃棄物の委託処理 →マニフェストの交付・COBRIS登録	遵法
建設リサイクル法	解体・新築・増築等（一定規模以上の工事） →都道府県知事への届出等	遵法
労働安全衛生法	解体・改修工事に伴う「石綿等」の除去作業 →労働基準監督署への届出及び記録の保存	遵法

■環境関連法規への違反、訴訟等の有無

環境関連法規遵守状況の確認において、環境関連法規への違反はありません。尚、関係当局よりの違反等の指摘は過去3年間ありません。

10. 全体の評価と見直し（Act)

株式会社萩原工業
Hagiwara Kogyo Co., Ltd.

■代表者による全体の評価と見直し

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、世界的な規模で感染者が増加し、社会経済活動に大きな影響を及ぼしています。県内においても、令和2年5月27日時点の感染症患者発生状況は149例目となっており、新型コロナウイルス感染症の第2波が懸念されることから、未だ予断を許さない状況となっています。

当社におきましては、新型コロナウイルス感染症への対策として、全従業員へのマスクの配布・着用、ソーシャルディスタンスなどの対策を講じ、従業員の安全の確保を優先に考え、事業活動を継続しております。

一方で、当社の本年度の達成状況につきましては、二酸化炭素排出量の項目が全て未達成という状況となっております。この項目については、年度ごとの受注工事内容に大きく影響を受けてしまうため、毎年度達成が難しい項目となっています。

そこで、工事内容に左右されにくい項目をピックアップ（二酸化炭素排出量　ガソリンの使用量）し、コロナウイルス対策の一環である「現場の直行直帰体制の確立」によりその数値の改善を行います。この取組みでは、現場従業員が直行直帰を行うことで、今まで本社から現場事務所の移動に要していた時間が大幅に削減でき、ガソリンの使用量の削減が見込まれます。

達成項目につきましては、これまで進めてきた取組みについて深化をさせ、未達成の項目につきましては、社内啓発を実施するとともに、取組みの実効性を高めていきます。

過去の環境活動レポートをご覧いただけます。
http://hagimoku.co.jp/csr%20environment.html